

保護者様

栃木市立三鴨小学校長 庄司和美

## 令和6年度学校評価の集計結果報告について

春寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校学校教育に対しご理解とご協力をいただいておりますこと心から感謝申し上げます。

さて、過日、実施させていただきました学校評価について集計結果がまとまりましたので、その概要を下記のとおりご報告させていただきます。

つきましては、この集計結果や貴重なご意見をもとに、引き続き、学校や児童、保護者、地域の皆様と一緒に地域とともにある学校づくりを進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

アンケートの評価項目を一新しましたので、前年度との比較は可能な項目について行っています。

## 記

## ○ 学校に関すること

\* 肯定的回答 … 「よくあてはまる」、「あてはまる」と回答したもの

教育目標	調査項目と質問	肯定的回答*の割合	結果分析と今後の取組
やさしい子	【人権教育】 学校は、互いに認め合う活動や人権意識を高めるための活動を行っている。	97.8%	・人権週間はもちろん授業中や帰りの会など、日々の教育活動で自他を尊重する機会を設定していく。多様な考えを認め合う活動を今後も継続して行う。
	【児童指導】 学校は、いじめのない学級づくりに取り組んでいる。	94.2%	・前年度から約8%増加した。 ・今後も、いじめの早期発見・早期対応に努め、保護者と連携しながら解決に向けて取り組んでいく。また、日頃から他者の感情に共感することの大切さを学ばせ、いじめの未然防止に努めていく。
	【道徳教育】 学校は、豊かな心を育てるために、道徳の授業を工夫するなど、道徳教育に力を入れている。	98.5%	・全教育活動を通じて道徳教育を推進し、学んだことを自分事として捉え、実践できる取組の工夫を図る。
	【教育相談】 学校の教職員は、丁寧に子供の相談に応じている。	94.5%	・教育相談等を活用して一人一人の思いに共感し、悩みを抱える児童については、保護者と連携し、全教職員で支援する。
	【学級経営】 学校は、子供たちの良い点やがんばりを認めている。	99.3%	・前年度から約3%増加し、高い評価を得た。 ・引き続き、児童一人一人の小さな成長を見逃さず、認め励ましていく。
	【児童指導】 学校は、「三鴨小のきまり」を守った生活について指導している。	100.0%	・非常に高い評価を得た。 ・全ての教職員が同一歩調で指導する体制を整える。児童が状況に応じて正しい判断ができるよう指導していく。
	【特別支援教育】 学校は、一人一人の教育的ニーズに応じた教育的配慮や支援を行っている。	94.6%	・児童、保護者の思いに寄り添いながら、児童に合った学びの場を創造する。
	【児童指導】 学校は、必要に応じてお子さんの状況を保護者と共有するなど、連携しながら指導支援に努めている。	96.0%	・引き続き、保護者との情報共有を密にし、組織的かつ協働的な児童指導、支援体制の充実に努める。
かしこい子	【学校課題】 学校は、児童が自分の考えを伝え合う学習活動を行っている。	98.4%	・前年度から約8%増加し、高評価を得た。 ・授業参観や学級懇談会、学校だより、ホームページ等で確認いただく機会を設け、学校課題に対する取組について情報共有していく。
	【ふるさと学習】 学校は、地域の教材を扱う学習を積極的に行っている。	96.8%	・引き続き、地域人材や地域教材を積極的に取り入れ、ふるさとに愛着と誇りがもてる児童を育てる。
	【学習指導】 学校は、分かりやすい授業づくりのために、いろいろな取組を行っている。	98.3%	・前年度から約6%増加し、高評価を得た。 ・学習のねらいを明確にし、児童が主体的に考え、学びを深められるよう授業づくりを行っていく。
	【情報教育】 学校は、ICT機器を積極的に活用し、学びの充実等を図っている。	95.6%	・学習意欲が向上し、効果的な学びができるよう、教師自らICTの活用法について学んでいく。

たくましい子	【学校行事・特別活動】 学校は、子供たちの主体的な活動を支援し、楽しく取り組めるようにいろいろな行事を工夫している。	98.5%	・前年度から約4%増加し、高い評価を得た。 ・多くの方々の協力もあり、開校120周年記念行事等で児童が主体的に活動できるよう支援できた成果が現れていた。
	【体育指導】 学校は、子供たちの体力向上に向けて運動の指導を工夫している。	91.7%	・楽しく運動量のある体育の授業や教科外での運動を工夫することで、児童の体力向上と運動への興味を高める。運動への取組は個人差が大きいことから、児童に自分なりの目標をもたせ、継続的に取り組ませる。
	【清掃指導】 学校では、子供たちの勤労奉仕の心を育てるための清掃や当番活動などの指導を工夫している。	97.0%	・清掃活動や当番活動を充実させることで、児童の責任感や協調性を育む。
	【安全教育】 学校は、子供たちの登下校や避難訓練などの安全に気を付ける指導を工夫している。	96.9%	・前年度から約7%増加し、高い評価を得た。 ・安全な登下校について指導したり、様々な自然災害や危機を想定した訓練を保護者の協力も得ながら実施したりして、自分の身は自分で守る力を身に付けさせる。
	【安全管理】 学校は、校舎や校庭などの教育環境整備を心掛けている。	96.8%	・引き続き定期的な点検を継続し、児童が安全・安心に活動できる環境を整える。
学校地域と共に取り組める	【家庭地域連携】 学校は、アシストネットやPTAなどの関係機関と連携を図っている。	98.5%	・PTAに関わる方々、保護者ボランティア、地域ボランティアの協力を得て、学習の充実が図られ、大きなイベントを円滑に運営することができた。引き続き、保護者、地域の方々の支援を得ながら、教育活動を行う。
	【家庭地域連携】 学校は、学校の様子を積極的に家庭や地域に公開している。	99.3%	・学校だよりや学校ホームページ等を通じて、本校の教育活動の様子を積極的に発信していく。

## ○ お子様に関すること

\* 肯定的回答 … 「よくあてはまる」、「あてはまる」と回答したもの

調査項目と質問	肯定的回答*の割合		結果分析と今後の取組
	保護者	児童	
【学級経営】 あなたのお子さんは、「学校は楽しい」と言っていますか。	96.2%	90.0%	・保護者回答は前年度から約3%増加した。児童回答は前年度から約2%減少した。 ・児童一人一人が互いのよさを認め合うことができる関係づくり、学級づくりに努めていく。
【読書指導】 あなたのお子さんは、家で読書をしていますか。	36.6%	66.3%	・保護者回答は前年度から14%、児童回答は前年度から約9%減少した。 ・読書月間の取組や委員会児童の活動の充実等の他、各担任が日々の学習と関連する図書を紹介する等の工夫を行っている。
【児童指導】 あなたのお子さんは、友達や家族、近所の方にあいさつをしていますか。	80.7%	88.4%	・保護者回答は前年度から約1%減少した。児童回答は前年度から約3%増加した。 ・教職員自ら、声掛けを行い、いつでも、どこでも、だれにでも、明るく元気な挨拶ができるよう粘り強く指導していく。
【児童指導】 あなたのお子さんは、学校の連絡などをきちんと伝えていきますか。	75.1%	78.7%	・保護者回答は前年度から約1%増加した。児童回答は前年度から約7%減少した。 ・紙ベースの通知だけでなくメールアプリや学校ホームページ等も積極的に活用し、家庭との連絡体制を充実させる。また、学習用タブレットを活用した連絡も定着させていく。
【保健指導】 あなたのお子さんは、早寝早起きをし、朝ご飯を食べて登校していますか。	84.6%	92.0%	・保護者、児童回答とも前年度から約3%減少した。 ・学級活動等で日々の過ごし方について振り返るとともに、運動習慣について保護者と連携した健康教育の推進に努めていく。

## ○ 保護者の声（主なご意見を要約させていただき、掲載しております。）

（好意的なご意見）

- ・たくさん体験をさせていただきありがとうございます。
- ・人数が少ない分、縦割り掃除で関わりがもてたりするので、とても良いと思います。
- ・伸び伸びと子供たちに指導してくれていて感謝しています。
- ・ちょこボラなど学校行事以外でも子供たちの様子など見られる機会ができたので良かったです。
- ・日々の成長に驚いています。やる気と可能性を引き出して頂き感謝しかありません。
- ・担任のみならず、たくさん先生が子供の様子をよく見ていてくれて、安心できます。
- ・最近、ホームページを一緒にみて、学校での出来事を話す機会が増えました。学校での様子も分かり嬉しいです。忙しい中、ホームページの更新ありがとうございます。

(検討が必要と思われるご意見)

- ・タブレットが重すぎて肩が痛そう。iPad など少しでも軽いものに変えられないか検討して頂けたら幸いです。
- ・体操着の下に長袖やスパッツ着てはいけないという学校の決まりを聞きました。  
朝晩だけ冷える時期などは下に長袖インナーやスパッツを履かせることが多いのでそれを体育の度に脱ぐのはどうなのかなと思います。長袖長ズボンの下に半袖半ズボン履かせなきゃいけないので持たせる荷物も増えてしまいます。  
黒の無地のみ OK としてほしいです。
- ・前回の引き渡し訓練ですが、中学校が文化祭で時間も重なっていました。文化祭は発表の場で見学できたりするので、細かい時間指定での訓練だからこそ、中学校と連携し重ならないようにしてほしいです。
- ・水道の蛇口が昔ながらのもので、感染対策にもなり、低学年の子でも簡単に蛇口がひねられるような後付けできるレバー(プラスチック)のものを取り付けたほうが良いと思います。

ご多用のところご協力いただきありがとうございました。全てのご意見については真摯に受け止め、今後の学校経営に生かしていきたいと思っております。

集計結果に関するご意見やご質問等がある場合には、学校(担当：教頭)までご連絡ください。